

RICOH  
デジタルサイネージ  
お客様導入事例



本社から支社・工場・研究所へ、Web社内報をリコーデジタルサイネージで遠隔配信。

InstagramやWebページとも連携させ、手間なくタイムリーに幅広いコンテンツを展開。

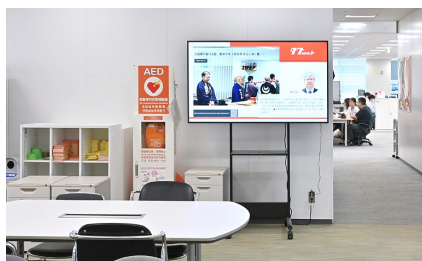
## マルハニチロ株式会社 様

- ご導入機種：リコーデジタルサイネージクラウドサービスおよび  
RICOH Digital Signage Type2 22台
- 参考：XBOARD 株式会社アマナ [https://xboard.jp/](https://xboard.jp/Company Profile)
- URL：<https://www.maruha-nichiro.co.jp/corporate/>
- 所在地：東京都江東区豊洲三丁目2番20号 豊洲フロント
- 事業内容：漁業・養殖、水産物の輸出入・加工・販売、冷凍食品・レトルト食品・缶詰・練り製品・化成品の製造・加工・販売、食肉・飼料原料の輸入、食肉製造・加工・販売
- 職員数：約12,531名（2024年3月現在）



マルハニチロ株式会社  
経営企画部  
ブランドコミュニケーション・広報グループ  
グループ長  
小林 美穂 様

世界最大規模の水産物調達力と、グローバルに広がるバリューチェーンを強みに、幅広い事業を展開されているマルハニチロ様。マルハニチロ様では、事業内容が多岐にわたるからこそ縦割り意識をなくし、一体感を育んでいくことを大切にされています。ブランドコミュニケーション・広報グループ様では、社員同士をつなぐ施策としてWeb社内報を展開されており、このWeb社内報をもっとたくさんの社員に見てもらいたいとの思いから、リコーデジタルサイネージを導入されました。本社と全国の支社、工場、研究所に全22台を導入。本社から各拠点へ、Web社内報をはじめ多様なコンテンツを遠隔配信されています。Web社内報については、リコーデジタルサイネージのシステムと連携させ、Web社内報の更新に合わせてデジタルサイネージのコンテンツも更新されるように設定。多目的室や居室内のディスプレイから、記事を繰り返し配信することで注目度アップにつなげています。また、Web社内報以外の情報も、リコーデジタルサイネージとInstagramやWebページを連携させることで、手間なくタイムリーに幅広いコンテンツを展開することが可能に。その他、海や魚にまつわるユニークなコンテンツも多数展開しており、全社を横断する様々な情報が社員同士をつなぎ、一体感を向上させています。



多目的室



居室内

### 導入前の課題

- Web社内報をより多くの社員に見てもらいたい。
- 支社や工場に負担をかけずに、情報配信がしたい。
- コンテンツ作成の手間はできるだけ抑えたい。

### 導入後の効果

- ❗ Web社内報の記事を繰り返し配信することで、記事への認知度・注目度を高められる。
- ❗ 本社からコンテンツを全国の拠点へ遠隔配信することで、各拠点に負担をかけずに多様な情報を配信できる。
- ❗ InstagramやWebページとの連携により、手間なくタイムリーに幅広いコンテンツを展開できる。

## インナーコミュニケーションを大切にされている背景を教えてください。

マルハニチロは、それぞれ創業100年以上の歴史を重ねてきた「マルハ」と「ニチロ」が、2007年に経営統合し誕生した会社です。もともとは別の会社だったからこそ、縦割り意識をなくし横のつながりを大切にしたいという意思は、経営陣をはじめとても強いと思います。また、事業内容も多岐にわたるため、部門を超えて理解を深めていくには、全社を横断するようなコミュニケーションの工夫が不可欠です。ブランドコミュニケーション・広報グループでは、社員同士をつなぐ橋渡しとなるメディアを目指して、社内報（冊子）を発行しており、2020年からはWeb社内報も展開しています。

## Web社内報の閲覧数を増やしたいと考えられていたそうですね。

はい。Web社内報は、ブランドコミュニケーション・広報グループのメンバーが各拠点や事業取材した記事を中心に毎日更新しています。「顔が見えるメディア」として、社員の顔写真とともに様々な内容を掲載しており、毎日記事をチェックしている社員も多くいます。ただ、職場にパソコンがない工場からのアクセスはどうしても限られてしまい、パソコンが職場にあってWeb社内報を見る習慣がない社員もいます。もっと手軽に見られたら今まで以上に注目してもらえるのではないかと思います。デジタルサイネージを使って全国の支社、工場、研究所にWeb社内報を配信してみようと思いました。

## リコーデジタルサイネージを採用した決め手を教えてください。

アフターサポートが充実しているところです。全国に広がる全拠点のサポートを、ブランドコミュニケーション・広報グループだけで行うのは困難です。その点、リコーデジタルサイネージにはコールセンターが用意されているので、とても心強く感じました。

## 全22台の設置場所を教えてください。

本社、中央研究所、全支社、全自社工場に導入し、多目的室や居室など社員が日常的に使う場所に設置しています。

## なぜリコーデジタルサイネージを全社的に活用したいと考えたのでしょうか。

事業や職種の枠を超えて横のつながりを強化していくには、全社的に情報共有ができる仕組みを様々な形で整えていく必要があります。そこで、リコーデジタルサイネージを全国の拠点に導入し、全社的なインナーコミュニケーションを促進するツールの一つとして活用したいと考えました。各拠点にリコーデジタルサイネージを導入し、Web社内報の記事のほか、各種事業の取り組みや経営陣のメッセージを繰り返し配信することで、自分の事業以外にも興味をもったり、経営陣に親しみを感じてもらえるようなきっかけ作りにつながりたいと思っています。



マルハニチロ株式会社  
経営企画部  
ブランドコミュニケーション・  
広報グループ 課長代理  
本島 敦子 様

## 全国の拠点への導入はスムーズに進みましたか？ 全社展開をどのように進めたのか教えてください。

全社展開においては、拠点に負担をかけないことがポイントだと思います。当社では、必要な手続きを本社で代行し、日々の情報更新も本社でコンテンツを作成し全国の拠点に遠隔配信することで、拠点には負担がかからない運用体制にしています。また、導入前には、各拠点の総務担当者を対象にリモートで説明会を行いました。私たちも、支社や工場の反応が心配だった

のですが、拠点側で操作をしなくても多様なコンテンツが遠隔配信されることや、横のつながりを大切にしていきたいという経営陣の思いを改めて伝えたところ、ぜひ導入したいという支社も出てきて、スムーズに全社展開を進めることができました。事前にディスプレイの設置場所やサイズの希望について、各拠点にヒアリングしたのも良かったのだと思います。実際にディスプレイを設置する際は、リコージャパンにサポートいただき大変助かりました。現在では、情報共有のツールとしてすっかり定着し、台数を増やしたい、グループ会社でも活用したいという声を受け、追加で導入した拠点もあります。



Web社内報のサムネイル



お魚を使ったレシピ「ムール貝のハーブソース」（Instagram連携機能）

## Instagramをデジタルサイネージで表示されたのはなぜですか？

魚を扱うマルハニチロならではの情報発信として、Instagramでは魚を使ったレシピを多数紹介しています。これを社員にもっと見てもらえるように、デジタルサイネージに表示したいと思いました。リコーデジタルサイネージにはInstagram連携機能があり、この機能を使えば、情報更新はもちろんレイアウトまで自動的に調整されるのがいいですね。レシピは写真も華やかで、デジタルサイネージのコンテンツにぴったりだと思っています。

## Web社内報やその他のコンテンツは、どのように配信しているのですか？

既存のコンテンツも活用しながら、できるだけ手間をかけずにいろいろな情報を配信できるようにしています。Web社内報は、XBOARD（株式会社アマナ）を使用しているのですが、XBOARDのデータをリコーデジタルサイネージと連携させることで、Web社内報の更新に合わせてデジタルサイネージのコンテンツも更新されるようにしています。また、株価など頻繁に変動する情報は、Web表示機能を使って指定したWebページと連携させることで、いつでも最新の情報を表示できるようにしています。その他、海や魚の魅力を様々な切り口で紹介するオリジナルコンテンツも多数配信しています。リコーデジタルサイネージは、操作方法が分かりやすく、コンテンツの管理やスケジュール設定なども直感的に操作できるので助かっています。

## リコーデジタルサイネージの導入効果を教えてください。

会社の今が分かる最新トピックスから各地で活躍する社員の姿まで、様々な情報をより早くより分かりやすく全国の拠点に届けられるようになりました。支社や工場を訪れた時にリコーデジタルサイネージの感想を聞くと、「自分から情報を取りに行かなくても最新の状況がよく分かる」「グループ会社の情報も手軽に得られるようになった」という声が多いですね。動画や写真の配信効果も大きく、「情報がずっと頭に入ってくる」と話す社員もいます。



マルハニチロ株式会社  
経営企画部  
ブランドコミュニケーション・  
広報グループ 主任  
櫻田 昌稔 様

## リコーデジタルサイネージ

## 3大選定ポイント

- ①サポート体制が充実している。
- ②デジタルサイネージ専用の配信機器（STB）として、セキュリティが高く作られている。
- ③最適なディスプレイの手配、設置もリコージャパンに対応してもらえる。

## お客様導入事例をWEBサイトでご紹介しています。

<https://www.ricoh.co.jp/products/line-up/digital-signage/case>

## リコーのデジタルサイネージ

<https://www.ricoh.co.jp/products/list/ricoh-digital-signage>

**RICOH**  
imagine. change.

リコージャパン株式会社

お問い合わせ・ご用命は

<https://www.ricoh.co.jp>

※本チラシ記載の会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。  
※XBOARDは株式会社アマナの製品です。<https://xboard.jp/>  
※Instagramは、メタ・プラットフォームズの登録商標または商標です。

記載内容は、2024年9月現在のものです。